２００７広島市政公開討論会マニフェスト

【～新たなる広島市の創造の為に～】

氏名 秋葉忠利

Ⅰ　基本理念『広島市政の現状認識・目指すべき広島市の姿』

（現状認識）
軌道に乗った広島市政 ― 市民・職員の協力を得て、広島市は「夕張化」から自らを救い、新球場建設に代表される新たな時代を迎えている。高い能力を持ちやる気のある職員と市民の手で活発なまちづくりが進んでいる『都市の本』で世界からその魅力と発信力、そして「元気力」が評価されている。
（目指す姿）
世界のモデルとしての「国際平和文化都市」― ２１世紀の世界を引っ張るのは都市である。その都市の中でも、広島で実現されていることが、そのまま「平和」の意味であることが理解され、世界のモデルとしての役割を果す時代となった。

Ⅱ　短期で行う重要施策（１年以内）　※優先順に３つ

①新球場建設、現球場跡地の有効活用、広大跡地の「知の拠点」化、広島駅南口Ｂブロック・Ｃブロックの再開発、新幹線口地区の整備等、ハード中心のまちづくりを計画通りに進める。図書館、美術館、動物園、植物園等まちづくりの目玉となる既存施設の再活性化も進める。
②福祉弱者（癌・難病等）の救済 ― 国や県の施策の犠牲者を生まないよう、国や県に対するより強力な働き掛けを行う。同時に、擁護学校の建て替えや、ライトハウスの建設等、市独自の施策の拡充と新規事業の採用を行う。
③市議会改革支援 ― 政務調査費、費用弁償等について市民の関心が高まってきており、これに応えて、最近急速に進みつつある市議会の改革に行政としてできる限りの支援を行う。

Ⅲ　中期で行う重要施策（４年以内）　※優先順に３つ

①小中一貫教育を軸とした「広島型新カリキュラム」を定着させ、基礎・基本の重視と創造的な能力の開発が両立する教育を実現する。その二本柱は「言語運用能力」と「数理運用能力」の涵養。
②多様なビジネスの市場拡大のため、ＩＴ活用の支援を行う「ＩＴビジネス振興課」を創設する。起業・経営支援のため、専門家の協力を得て「ひろしま・アキバ塾」を開設する。
③公共交通ネットワークを整備するため、路面電車のＬＲＴ化・環状線化や白島新駅の建設をさらに進め、同時に歩行者と自転車が日常的に、快適かつ安全に共存できる「サステイナブル・シティー」としての交通環境を整備する。

Ⅳ　長期で行う重要施策　※優先順に３つ

①核兵器の廃絶 ― 平和市長会議と共に推進している「２０２０ビジョン」をさらに多くの都市に広げるため「都市を攻撃目標にするな」プロジェクトを中心にした世論喚起に取り組む。国連等における活動を世界のNGOや協力的な政府と共に確実に進める。
②鮎や牡蠣も喜ぶ、泳げる太田川の復活 ― 「太田川再生検討委員会」の議論を中心に、太田川の水質・水量等の根本的な課題に取り組むと共に、「水の都ひろしま」としてのまちづくりを本格化し、２０２０年には「水の都宣言」を行う。
③オリンピック本来の精神をより忠実に受け継いでいるパラリンピックを、核兵器の廃絶が実現する２０２０年、広島に誘致する。（オリンピック自体が過度な商業主義から脱却し、「平和の祭典」として再生した暁には、オリンピックも引き受ける）

広島市長選挙　立候補予定者プロフィール

お名前　　秋葉 忠利（あきば ただとし）

東京大学理学部数学科卒。同大学院卒。

マサチューセッツ工科大学　理学博士。

アメリカで、タフツ大学准教授、ビジネスコンサルタント等。

広島修道大学教授。日経産業研究所主任研究員。

テレビのニュースキャスター。

海外ジャーナリスト広島長崎招請計画「アキバ・プロジェクト」主宰。

衆議院議員３期９年務める。

１９９９年に広島市長就任。２期８年を務める。